

展示会の節約経費を被災地理化教育支援金

——日本分析機器工業会——

この度の東日本大震災において被害を受けられたみなさまに心よりお見舞い申し上げます。

社団法人 日本分析機器工業会(〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 1-10-1 電話 03-3292-0642 会長 服部 重彦=(株)島津製作所代表取締役会長)と日本科学機器団体連合会(〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-8-5 電話 03-3661-5131 会長 矢澤英人(株)ダルトン 代表取締役社長)が主催する分析展 2011/科学機器展 2011 合同展は 9 月 7 日(水)から 9 月 9 日(金)まで、幕張メッセ 5、6、7、8 の 4 ホールを使用して開催します。

本合同展では、アルバイト人員の適正数化、機能優先の主催者装飾、エアコン・照明等の節約電力などで削減できた経費を、福島県、岩手県、宮城県の被災地各地の教育委員会を通し、小・中・高校向けの「青少年理化学教育復興支援金」にあてることとしました。現在、約 300 万円の経費削減による支援金を予定しています。これはご来場者から義援寄付金を募るのではなく、当工業会が、スマートな展示会を目指し、節電等で節約できた経費を財源とするものです。ご来場者にご出展社、主催者が一体となり、本展示会を盛り上げ、その成果還元を行うというものです。ぜひ、本主旨に、ご賛同いただき多くの方々のご来場をお待ち申し上げます。なお、本件は、出展料の一部を拠出金とする事から、先の当工業会通常総会および出展社説明会、さらに全出展社への mail でのご協力依頼において会員、ご出展社様より、支援金供出のご承認を頂くと共に、併せて激励のお言葉をいただきました。

分析・理化学機器・技術は、あらゆる産業のマザーツールとしてこれまでも世界の科学技術の発展に貢献してまいりました。この度の震災における産業・経済を復興するためにも欠く事のできない製品・技術です。本展示会は、分析機器・技術に加えて理化学機器、及びその関連技術・製品が一堂に会した、文字通り「分析・計測の入口から出口まで」の最新情報が展示された総合展示会であり、米国の Pittcon 展、欧州の Analytica 展とならぶ世界の3大分析・計測関連総合展として不動の地位を築いています。

○本展での大きな特長は、機器展示に加えて最新技術情報の発表を行っている点です。出展者が行う新技術説明会は 83 社・機関 313 テーマとテーマ数では昨年実績を上回ります。国際会議場の全館を使用しての学術コンファレンスの他、展示会場内では理化教育フォーラムや理化学機器入門講座も開催されます。また、国際会議場では 5 年ぶりに改正された日本薬局方について、実際に改正に携わった先生方がお話いただきます。さらに毎回 300 名近くの一一般の方々に参加され、ご好評をいただいているサイエンスセミナーも例年通り『科学的な話題を一般の方々にも判り易く』を、合言葉に、二つのテーマ・「南極探査とオーロラ」「深海探査船・ちきゅうと海洋探査」で開催します。

震災後の厳しい環境下ですが、産業・経済復興を願い、積極的な動員をはかり 3 万人の来場者数を目指します。東京都心からの来場者の利便性のため、幕張本郷駅、海浜幕張駅からのシャトルバスの増便を行います。

○合同展 2011 は、分析・計測に関するアジア最大規模の展示会であり、最新の製品情報のみならず、最先端の学術的、技術的な情報も提示される世界有数の総合展です。震災後の産業・経済復興を目指し、主催者として、出展企業にも来場者にもご満足いただけるように努力してまいります。

ぜひ、多くのご来場をお待ちしています。

【お問い合わせ先】

- (社)日本分析機器工業会内合同展事務局 事務局長 濱崎(はまざき)/小川(おがわ)
電話(03)3292-0642 までご遠慮なくお問い合わせください。